

一般財団法人天涯文化財団

2020年度(第3期)事業計画書

自 2020年11月1日から 至 2021年10月31日

1. 事業実施の方針

2020年7月18日(土)盛田昭夫塾を開館しました。新型コロナウイルス禍中のオープンとなり8月の一時休館期間を経て、9月3日再オープン、感染症拡大防止対策を施し運営しています。来期は感染症の状況を見極めつつ展示の入れ換えやセミナーの開催、塾生への広報活動の強化地域の教育機関との連携などを通じ更なる事業の発展を図ります。

古文書研究事業では日本福祉大学知多半島総合研究所による古文書、典籍等の研究をさらに進めるとともに学芸員、財団スタッフで月2回の新倉保存の食器や雑貨の整理を実施、展示内容の充実を図るとともに発表会を実施し成果を一般に公開します。鈴溪資料館施設の修理につきましても緊急度の高いものより実施していきます。

愛知県教育委員会と事業運営や申請内容について協議検討を続けてきました公益認定を愛知県公益認定等審議会に申請します。皆様のご協力ご支援何卒よろしくお願いいたします。

■今年度重点施策

1. 鈴溪資料館の整備及び古文書等の研究促進と成果発表の実施
2. 盛田昭夫塾運営、展示、イベントの充実
3. 公益財団法人格の取得

2. 事業の実施に関する事項

- (1) 知多半島及び盛田家に由来する古文書、典籍等の研究、研究成果の公開
 - ・盛田家に残された近世初期からの古文書、典籍等を分類・整理し目録を作成する。(日本福祉大学知多半島総合研究所との協業により実施)
 - ・鈴溪資料館にて古文書、典籍等及びその成果を一般公開する。(常設展示に加えテーマごとの企画展示を随時開催、年1回愛知県内にて発表会を実施)
 - ・インターネット、SNSを活用し研究成果を世界に発信する。(国際空港隣接の常滑が海外からの文化・民族研究者が集まる場になることを目的とする)
- (2) 盛田昭夫顕彰事業
 - ・盛田昭夫塾を開館し、盛田昭夫に関する資料の収集、研究を行い、その成果を一般公開する。
 - ・盛田昭夫の残した文書、映像、品々、盛田昭夫に影響を及ぼした人々に関連するセミナー及びワークショップを行う。
 - (盛田家15代当主に生まれながらソニー創業者となった盛田昭夫の生き様に触れられる「盛田昭夫塾」を開館。見るだけでなく「学べる場所」として未来人のパワースポットとなることを目指す)